会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（松尾自治会）
2　日時	平成 30 年 6 月 17 日（日）10：30～11：30
3　場所	松尾自治会館
4　出席者	（資源循環課）熊澤課長、原田副主査 （環境事業センター）小室所長、林所長補佐 （松尾自治会）参加人数：28 人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。。 ●他市の不法投棄対策はどのようになっているのか。 →藤沢市では家庭ごみ有料化や戸別収集に伴い、不法投棄が著しく増加したという実体はない。対策としては、資料に記載した対策例のとおり。本市で実施した場合においてもその点には十分に配慮していく。 ●戸別収集を実施した場合、各家庭でのカラス対策はどのようになるのか。 →各家庭で自己責任で対策に努めていただくことになる。他市の例を見ると、ポリバケツなどを活用し、敷地内に排出している。 ●パッカー車が収集に来るのが午後になる場合もあると思う。その場合は、朝からポリバケツに入れておくということか。 →そのとおりである。 ●戸別収集を実施した場合、集合住宅の収集はどのようになるのか。 →他市では、集合住宅の場合は、現在と同様に専用の置き場に出していただいている。 ●県内で戸別収集を実施しているのは、大和市と藤沢市と言うことであるが、その他の市では導入が進んでいないのか。１０年以上経っても、他市で導入がされていないのには何か理由があるのか。 →逗子市や鎌倉市でも検討されたが、経費の面で課題があるため導入はされていない。 ●導入には慎重な検討が必要であると思う。 →現在、経費に関して調査を行っており、十分に精査し、判断していきたい。 ●今現在、茅ヶ崎市では有料化ありきという考えではないということか。 →そのとおりである。 ●小学生などに対し、ごみを減らさなければ、有料化になってしまうと言うことをわかりやすく伝えていくことも必要である。 →環境学習などで説明をさせていただいており、継続的に啓発に努めたい。

	●導入する場合、有料化と戸別収集はセットになるのか。 →別々の施策である。 ●有料化のみ実施した場合には、どのようにごみを排出するのか。 →逗子市や鎌倉市では、有料袋を用いて、集積場所に排出している。 ●紙の分別については、チラシのとおり細かく分けなくてはならないのか。 →紙類の分別については、種類ごとにリサイクルのルートがあるため、チラシのとおり分別をしていただきたい。 ●集積場所でごみボックスを設置しているが、戸別収集を実施した場合に、市で買い取ってもらえるか。 →ご意見として承る。 ●有料化の導入時期はいつごろか。また、対象となるのはどのようなごみか。 →現在検討段階であり、具体的な時期は決まっていない。他市では、燃やせるごみと燃やせないごみを対象にしているところが多く、本市でも同様に対象とすることを想定している。 ●プラスチック製容器包装類について、汚れている場合に燃やせるごみとして捨ててしまうことがある。どのような基準で分別すればよいのか。 →できるだけきれいな状態にして、プラスチック製容器包装類として出していただくことが望ましいが、なかなかそこまで徹底することは難しいと思われる。感覚的に簡単に濯いで、きれいになればプラスチック製容器包装類として扱っていただきたい。 →きれいにするために、水をたくさん使いすぎるのも効率的ではない。できるだけ努力していただくということでご理解いただきたい。 ●プラスチック製容器包装類の分別の基準がわかりにくいので、市民が理解できるような啓発に努めてほしい。 →皆様にご理解いただけるよう、今後も啓発に努めていく。 ●スーパーで食品トレーなどの回収を進めているところもある。燃やせるごみとして出すのではなく、リサイクルが進むよう分別を行うことが重要である。 ●分別を市民にわかりやすく伝えていくことが重要である。広く皆さんに伝わるよう周知してもらいたい。 →皆様に分別に取り組んでいただけるよう周知を行っていきたい。皆様も各ご家庭で分別に取り組んでいただくよう、ぜひお願いしたい。

	●戸別収集には、職員や車両、経費が多く掛かってくる。市民としてもその点を念頭において、現状を捉える必要があると思う。 以上